

【計画停電対応・停電総合相談センター】 生活安全部防災課

帰宅困難者対応や避難所の閉鎖などが一段落した3月13日夜、計画停電を実施する」との報道がされた。そこで、平成20年8月末豪雨の経験を踏まえ、市民の混乱や問い合わせに対応すべく「停電総合相談センター」を設置して対応にあたった。この相談センターには、東京電力社員も常駐した。

計画停電対応等一覧表

<p><センター設置経過等></p> <ul style="list-style-type: none"> ・計画停電が実施されることになり、市民の混乱・問い合わせに対応するため、関係する12部で「停電総合相談センター」の設置を決定（当初12部24名体制） ・当初構成12部（理由）＝1 総合政策部（報道等）、2 市民活動推進部（市民センター・文化施設等）、3 税務（り災証明）、4 市民部（窓口・事務所等）、5 健康福祉部（保健・高齢者等）、6 子ども家庭部（保育・児童館）、7 環境部（ごみ）、8 水循環部（上下水道）、9 まちづくり計画部（交通）、10 道路事業部（道路）、11 学校教育部（学校）、12 生涯学習スポーツ部（生涯学習施設） ・当初の体制は、庶務担当主査相当1名+管理職1名の2名1組で派遣を依頼（20年8月末豪雨の教訓を踏まえ、調整機能も併せ持つべく考慮） 						
<p><停電状況等></p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループ分け 						
グループ	第2G (3/26より第2-D)		第3G (〃第3-B)		第4G (〃第4-C)	
区域	第3G以外 (ただし東中野227~285付近を除く)		犬目町、加住町1・2丁目、上川町、川口町、戸吹町、みつ台1・2丁目、宮下町 <u>左入町、高月町、滝山町、丹木町1・2・3丁目、中野町、檜原町、西寺方町、美山町、谷野町</u>		東中野227~285付近 (東中野かじさか公園周辺)	
<p>※ 第3グループのうち、下線がある町は、第2グループに属する区域が混在。 ※ 3/26より東京電力による区域の細分化が実施されたが、実質的に市内の区域等への影響は無し。</p>						
<p>・停電結果、相談状況等（3/30までの累計21,725件）</p>						
		第2G (第2-D)	第3G (第3-B)	第4G (第4-C)	相談センター 開設時間	相談件数
3月14日(月)	「停電総合相談センター」設置 計画停電は全て中止				12:00~24:00	3600件 (~3/15の8:30)
3月15日(火)	結果	18:54~21:25	中止	中止	0:00~24:00	2573件 (8:30~24:00)
	2Gは市内5つの変電所のみ。エレベーター事故（軽度）5件					

第1章 第3節 計画停電対応・停電総合相談センター・節電対応

		第2G (第2-D)	第3G (第3-B)	第4G (第4-C)	相談センター 開設時間	相談件数
3月16日(水)	結果	15:50~18:50	18:35~20:35	中止	6:00~24:00	3065件
	2Gは市内5つの変電所のみ。不公平感から苦情増加					
3月17日(木)	結果	12:50~15:36	15:30~18:30	中止	8:30~20:00	1602件
	2Gは市内5つの変電所のみ。不公平感から苦情増加					
3月18日(金)	結果	9:50~12:50	12:30~15:21	中止	8:30~17:15	1486件
	2Gは由木・別所を除く					
3月19日(土)	結果	全て中止			6:00~17:00	359件
3月20日(日)	結果	全て中止			6:00~17:00	173件
3月21日(月)	結果	全て中止			6:00~17:00	781件
3月22日(火)	結果	12:50~15:45	15:30~18:20	中止	8:30~19:00	1158件
	2Gは由木・別所を除く					
3月23日(水)	結果	全て中止			8:30~17:00	1502件
3月24日(木)	結果	全て中止			8:30~17:00	593件
3月25日(金)	結果	18:50~20:01	中止	中止	8:30~20:30	2022件
	2Gは由木・別所を除く					
3月26日(土)	結果	全て中止			8:30~17:00	492件
3月27日(日)	結果	全て中止			8:30~17:00	572件
3月28日(月)	結果	全て中止			8:30~17:00	1279件
3月29日(火)	結果	全て中止			8:30~17:00	285件
3月30日(水)	結果	全て中止			8:30~17:00	183件
3月31日(木)	結果	全て中止			8:30~17:00	216件
4月1日(金)	結果	全て中止			8:30~17:15	166件
4月2日(土)	結果	全て中止			8:30~17:15	40件
4月3日(日)	結果	全て中止			8:30~17:15	20件
4月4日(月)	結果	全て中止			8:30~17:15	154件

※これ以降、計画停電はすべて中止。4月8日には東京電力が計画停電の原則不実施を発表。

<メール対応等>

- ・ 防災情報メール発信回数 76回
- ・ 防災行政無線放送回数 79回
- ・ 停電問合せ件数 22,628件
- ・ 3/15より防災メールを電話でも受け付け(16からはFAXも)。3/11(地震発生)から15までで、登録件数は約1.5倍(9,675→14,325)、17日で約2倍(19,899)、21で約2.7倍(26,166)
- ・ 防災行政無線が聞きづらい等の苦情も多いが、メール等の自助で対応することも依頼。(無線については落ち着いた段階で調査等を実施)



停電総合相談センターの様子

【停電総合相談センターの開設】 行政経営部経営監理室

地震の影響による停電に関する相談等に的確かつ迅速に対応するため、「停電総合相談センター」を開設するにあたり、所管を超えた職員の応援体制を確保する調整を行った。

停電総合相談センターの経緯

日付	体制
3月11日	地震発生 以降7名で臨時電話対応
3月14日	12時に「停電総合相談センター」を開設 24名・24時間体制
3月15日	13時から14名体制 対応時間を24時までに変更
3月18日	「東北地方太平洋沖地震支援本部」と「停電総合相談センター」を「東北関東震災対策本部」に一元化 対応時間を8時30分から17時15分までに変更
3月19日	生涯学習スポーツ部各施設職員を中心に停電相談・対応を実施（延170人）
4月1日	市民の総合窓口として「東北関東震災総合相談センター」を開設
4月7日	災害名が閣議決定されたことを受け、「東日本大震災総合相談センター」に改称

【計画停電及び節電による施設対応】 行政経営部経営監理室

計画停電及び節電対策に伴う施設の開館状況の変更等について情報を集約した。また、節電対策に基づき、各施設が実施する施設の利用制限やその緩和対策等についての総合調整を行った。

主な対応

1. 震災直後から平成23年5月末まで（各施設における初動対応）
 - ・震災直後から市施設を所管する各課へ聞き取りを実施し、各施設の開館状況の管理（状況把握及び施設一覧表の作成）を開始した。
 - ・一覧表については、市民からの問い合わせに対応できるよう、全庁に周知したほか、広報担当への情報提供を行った。
2. 平成23年6月から9月まで（夏期の節電対策・施設の利用制限）
 - ・夏期の節電対策の取り組みとして、各施設において、夜間の利用制限や輪番休館などの対策が講じられた。
 - ・市民への情報周知を進めるために、節電対策の取り組み情報をホームページや施設で掲載するよう各施設管理者に依頼した。
3. 平成23年10月から平成24年3月まで（施設の利用制限を緩和）
 - ・市民から通常開館を望む声が多く寄せられたことを受け、今後の対応方針を検討した。
 - ・市民要望及び提供するサービスの重要性を考慮したうえで、利用を緩和すべき施設とその際の電力使用量の影響を検証した。
 - ・上記の検証結果を受け、東日本大震災対策本部会議において、10月以降も節電の取り組みを継続しつつ、施設の利用制限の緩和を拡大することが決定した。
4. 平成24年4月以降（施設の通常開館）
 - ・電力需給の状況も安定したことから、東日本大震災対策本部会議において、4月1日から平常どおりの施設利用とすることを決定した。

【節電への取組】 環境部環境政策課

1. 節電対策

原子力発電所が被災したことにより、東京及び東北電力管内においては、電力供給力が通常と比較し大きく落ち込み、東京電力管内の一部では計画停電が実施された。また、平成23年5月に国は夏の電力需給対策により、東京電力管内では、医療施設など一部を除き、大口需要家、小口需要家、家庭がそれぞれ15%の節電を目標とすることになった。そこで、市では、突然の大規模停電や計画停電を回避するため、オール八王子で徹底節電に取り組むものとし、使用量ベースで常時15%の削減を目標とした各種取組を実施した。

(1) 節電取組

ア 平成22・23年度の節電取組

市施設など	<p>平成23年3月13日、震災対策本部会議で市窓口や施設の利用時間の変更を決定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計画停電の原則中止決定以降も、停電回避のため施設の夜間利用中止などは継続、平成23年6月から「輪番休館」を実施（平成24年3月末で終了） <p>【市の主な節電対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○28施設の白熱電球をLED電球へ交換 ○市道の照明灯の一部、約2,500基を消灯し、約400基を省エネタイプ（セラミドハイドロランプ）へ交換 ○八王子駅など、市内主要駅構外のエスカレーター13基を運転停止 ○市内670ヶ所の公園の照明灯を消灯 ○市役所本庁舎や各事務所などで照明を消灯・間引き ○空調の温度設定を28度に徹底 ○省エネチャレンジ2011、家庭の省エネ運動を実施
市民への周知	<p>3月19日「広報はちおうじ」臨時号で市民へ節電徹底の呼びかけ以降、毎号の広報に「節電協力」の記事掲載（6月15日号で特集記事）</p> <p>ケーブルテレビで市長からの節電呼びかけを放送</p>

イ 平成24年度の節電取組

平成24年4月以降については、電力需給の状況から平常時の節電の取り組みとして、「環境にやさしい八王子市役所エコアクションプラン（第2次）」に掲げるエネルギー使用削減の目標（平成27年度目標値・平成22年度比-19%）を基本とした。また、各施設の利用制限も平常時の施設利用とし、夏季も市民サービスに影響を及ぼさない範囲で徹底した節電に取り組むものとした。

(2) 夏季の省エネルギー対策

市職員に対し、電力の最大需要期である夏季を迎えるにあたり、市内へ地球温暖化の防止と省エネルギー対策を推進するため、従来よりも一層の電力の効率的な使用等に努めるよう環境部長、総務部長、財務部長連名で通知した。

なお、例年、6月1日～9月30日の期間で実施していたが、前倒し及び延長して実施した。

- ・平成23年度 5月10日(火)～10月15日(土)
- ・平成24年度 5月7日(月)～10月13日(土)



各施設でポスターを掲示

2. 市施設の電力使用量

平成23年度の電力使用量は、62,919,627 kWhとなり、平成22年度の76,634,614 kWhと比較すると、17.9%の削減となり、平成22年度比-15%とした節電目標を達成した。

なお、節電目標は、平成24年度は平成22年度比-16%である。

第1章 第3節 計画停電対応・停電総合相談センター・節電対応

市施設電力使用量実績について(24.12月時点) (kWh)

年 度	4月		5月		6月	
	使用量	対22年度比	使用量	対22年度比	使用量	対22年度比
22	6,164,389		5,804,720		6,940,504	
23	4,707,057	-23.6%	4,802,594	-17.3%	5,140,128	-25.9%
24	4,953,058	-19.7%	5,144,598	-11.4%	5,265,053	-24.1%

年 度	7月		8月		9月	
	使用量	対22年度比	使用量	対22年度比	使用量	対22年度比
22	7,267,053		7,401,545		7,275,273	
23	5,340,865	-26.5%	5,559,082	-24.9%	5,445,276	-25.2%
24	5,473,383	-24.7%	5,988,360	-19.1%	5,752,401	-20.9%

年 度	10月		11月		12月	
	使用量	対22年度比	使用量	対22年度比	使用量	対22年度比
22	6,172,079		5,768,225		5,904,101	
23	5,065,034	-17.94%	4,848,926	-15.94%	5,201,617	-9.15%
24	5,520,010	-10.56%	5,156,923	-10.60%	5,437,978	-7.89%

年 度	1月		2月		3月	
	使用量	対22年度比	使用量	対22年度比	使用量	対22年度比
22	5,874,467		6,241,642		5,820,617	
23	5,342,582	-9.05%	5,833,207	-6.54%	5,630,602	-3.26%
24	-	-	-	-	-	-

年 度	計	
	使用量	対22年度比
22	76,634,614	
23	62,916,969	-17.90%
24	-	-

3. 市民と連携した節電の取組

(1) 省エネチャレンジ

家庭において省エネ活動に取り組み、その結果を市又は八王子市温暖化防止センターへ報告してもらう取組を実施した。また、同様な取組として、都教育委員会が主催する「CO2削減アクション月間」(6月)に対して、全小中学校に参加を呼び掛けた。

第1章 第3節 計画停電対応・停電総合相談センター・節電対応

(2) 省エネカンパニー

省エネルギーに対して前向きに取り組む事業者を「八王子省エネカンパニー」として、市のホームページ等で公表し、省エネに対する企業姿勢をPRする取組を実施した。

(3) まちなか避暑地

エアコン等の電気を切って家庭を離れ、公共施設等で日中の一定時間を過ごすことで家庭での節電を支援する取組を実施した。

実施施設数等

	実施施設
平成23年度	公共施設 10 施設
平成24年度	公共施設 48 施設 商業施設 5 施設

(4) みどりのカーテンコンテスト

夏季に植物の葉で日差しを遮り、建物の室温上昇を抑える効果のあるみどりのカーテンの普及を図ることで、家庭等での節電を支援する取組を実施した。

実施結果概要

募 集 期 間	平成24年8月1日～9月30日
応 募 件 数	95件（住宅部門60件、団体部門35件）
表 彰	12件（住宅部門・団体部門、それぞれ最優秀賞1件、優秀賞5件）

【広報はちおうじによる周知】 総合政策部都市戦略室（広報担当）

(1) 臨時号（平成23年3月20日）を発行

市の節電方針や義援金募集について市民に周知するため、広報はちおうじ臨時号（3月20日付）を発行。3月19日、新聞折込により市内各世帯へ配布した。

広報 はちおうじ 臨時号 3.20

東北地方太平洋沖地震にあたって
私たちが今、できることを

被災地へ義援金を
募金の方法は

1. 口座に振り込み
2. 直接、募金箱へ

徹底的な節電にご協力を

計画停電が実施されています

停電の発生、電気の供給量が減少します。これにより、東京電力は電気の需要・供給のバランスを崩すことが予想されます。計画停電を実施しています。

停電は東京電力管内のエリアによって実施されます。停電は地域別に20分単位で実施されています。停電対象地域は、このパンフレットに掲載されています。停電対象地域に入りますようご注意ください。

停電情報の入手方法

- テレビやラジオ
- 東京電力ホームページ (http://www.tokyo-ea.jp/index.html)
- 東京電力コールセンター (03-3543-1111)
- 市のホームページ
- 市の広報センター (020-7200-7207)
- パソコンや携帯電話

市営施設・窓口の利用時間を変更

市の窓口や施設の利用時間を変更しています。これは、停電や計画停電に備えるための措置として実施しています。ご理解とご協力をいただきます。詳しくは各施設へお問い合わせください。また市のホームページでも詳細情報をお知らせいたします。

夜間のみ業務を中止する施設

施設名	問い合わせ先
市民センター	020-7200-1100
市民センター 大宮分館	020-7200-3278
市民センター 大宮南分館	020-7200-1101
市民センター 大宮北分館	020-7200-1101
市民センター 大宮東分館	020-7200-1101
市民センター 大宮西分館	020-7200-1101
市民センター 大宮南西分館	020-7200-1101
市民センター 大宮北西分館	020-7200-1101
市民センター 大宮東西分館	020-7200-1101
市民センター 大宮西西分館	020-7200-1101
市民センター 大宮南東分館	020-7200-1101
市民センター 大宮北東分館	020-7200-1101
市民センター 大宮東東分館	020-7200-1101
市民センター 大宮西東分館	020-7200-1101
市民センター 大宮南南分館	020-7200-1101
市民センター 大宮北南分館	020-7200-1101
市民センター 大宮東南分館	020-7200-1101
市民センター 大宮西南分館	020-7200-1101
市民センター 大宮東南分館	020-7200-1101
市民センター 大宮西南分館	020-7200-1101
市民センター 大宮東南分館	020-7200-1101
市民センター 大宮西南分館	020-7200-1101
市民センター 大宮東南分館	020-7200-1101
市民センター 大宮西南分館	020-7200-1101

昼夜問わず休館する施設

施設名	問い合わせ先
市民センター	020-7200-1100
市民センター 大宮分館	020-7200-3278
市民センター 大宮南分館	020-7200-1101
市民センター 大宮北分館	020-7200-1101
市民センター 大宮東分館	020-7200-1101
市民センター 大宮西分館	020-7200-1101
市民センター 大宮南西分館	020-7200-1101
市民センター 大宮北西分館	020-7200-1101
市民センター 大宮東西分館	020-7200-1101
市民センター 大宮西西分館	020-7200-1101
市民センター 大宮南東分館	020-7200-1101
市民センター 大宮北東分館	020-7200-1101
市民センター 大宮東東分館	020-7200-1101
市民センター 大宮西東分館	020-7200-1101
市民センター 大宮南南分館	020-7200-1101
市民センター 大宮北南分館	020-7200-1101
市民センター 大宮東南分館	020-7200-1101
市民センター 大宮西南分館	020-7200-1101
市民センター 大宮東南分館	020-7200-1101
市民センター 大宮西南分館	020-7200-1101

利用自前をお願いする施設

施設名	問い合わせ先
市民センター	020-7200-1100
市民センター 大宮分館	020-7200-3278
市民センター 大宮南分館	020-7200-1101
市民センター 大宮北分館	020-7200-1101
市民センター 大宮東分館	020-7200-1101
市民センター 大宮西分館	020-7200-1101
市民センター 大宮南西分館	020-7200-1101
市民センター 大宮北西分館	020-7200-1101
市民センター 大宮東西分館	020-7200-1101
市民センター 大宮西西分館	020-7200-1101
市民センター 大宮南東分館	020-7200-1101
市民センター 大宮北東分館	020-7200-1101
市民センター 大宮東東分館	020-7200-1101
市民センター 大宮西東分館	020-7200-1101
市民センター 大宮南南分館	020-7200-1101
市民センター 大宮北南分館	020-7200-1101
市民センター 大宮東南分館	020-7200-1101
市民センター 大宮西南分館	020-7200-1101
市民センター 大宮東南分館	020-7200-1101
市民センター 大宮西南分館	020-7200-1101

平成 23 年 3 月 20 日発行 広報はちおうじ臨時号 (B4 判 2 ページ)

(2) 計画停電の案内や節電対応の呼びかけなどを広報で周知

平成 23 年 6 月 15 日号で、本市の夏に向けた節電目標を説明するとともに、市施設の開館状況などをお知らせするカレンダーを作成し、市民周知を図った。そのほか、計画停電の問い合わせや、市民への節電の呼びかけなどを次ページ以降の表のとおり広報に掲載した。

広報 はちおうじ No.1233 6.15 2011 (平成23年)

今、電気が止まったら

待集「徹底節電」で電力危機を乗り切る

電力不足による生活への影響は甚大です。市民の皆様が節電を心がけていただくことで、電力危機を乗り切ることが可能です。市民の皆様が節電を心がけていただくことで、電力危機を乗り切ることが可能です。

待集「徹底節電」で電力危機を乗り切る

電力不足による生活への影響は甚大です。市民の皆様が節電を心がけていただくことで、電力危機を乗り切ることが可能です。市民の皆様が節電を心がけていただくことで、電力危機を乗り切ることが可能です。

平成 23 年 6 月 15 日号広報での節電特集

計画停電及び節電に関する掲載記事一覧

広報掲載号			内 容
年	発行号	ページ (P)	
平成 23 年	4 月 1 日号	1P	市長メッセージ (節電と義援金の呼びかけ)
平成 23 年	4 月 15 日号	2P	計画停電に関する問い合わせ (東日本大震災総合相談センターと東京電力計画停電ご案内専用ダイヤル)
平成 23 年	4 月 15 日号	3P	市の主な施設・窓口の開館状況と節電の呼びかけ (4 月 4 日現在)
平成 23 年	5 月 1 日	1P	市長メッセージ (義援金のお礼、節電の呼びかけ)
平成 23 年	5 月 1 日号	5P	節電のポイントを紹介 (節電の呼びかけと夜間窓口業務、施設の夜間開館などを原則中止)
平成 23 年	5 月 1 日号	13P	八王子花火大会と八王子まつり開催中止のお知らせ
平成 23 年	6 月 1 日号	16P	市長メッセージ (夏の電力不足を乗り切るためになお一層の節電徹底を)
平成 23 年	6 月 1 日号	16P	節電に伴う市の主な施設・窓口の開館状況
平成 23 年	6 月 15 日号	1～3P	特集:「徹底節電」で電力危機を乗り切る
平成 23 年	6 月 15 日号	特集号	6～9 月の主な施設の開館カレンダー
平成 23 年	7 月 1 日号	16P	シリーズ徹底節電 (LED 電球への交換 今が絶好のタイミング)
平成 23 年	7 月 15 日号	14P	節電対策に伴う夜間窓口の停止や公共施設の休館日、開館時間変更のお知らせ
平成 23 年	7 月 15 日号	16P	シリーズ徹底節電 (エアコンと扇風機「合わせ技」で賢く)
平成 23 年	8 月 1 日	12P	いちょうホール臨時休館のお知らせ (節電対応)
平成 23 年	8 月 1 日号	16P	シリーズ徹底節電 (節水は節電にも、外出して暑さを「しのぐ」)
平成 23 年	8 月 15 日号	12P	シリーズ徹底節電 (キッチン「節電術の宝庫」)
平成 23 年	9 月 15 日号	10P	7 月の市施設電力使用量が前年比 24.12%の削減を達成

第1章 第3節 計画停電対応・停電総合相談センター・節電対応

広報掲載号			内 容
年	発行号	ページ (P)	
平成 23 年	10 月 1 日号	8P	10 月以降も節電を実施 (8 月の市施設電力使用量、施設の開館情報 など)
平成 23 年	10 月 15 日号	3P	10 月から一部の施設で利用制限を緩和
平成 24 年	3 月 15 日号	8P	節電のため利用制限している施設を平常通 りに (スポーツ施設)
平成 24 年	4 月 15 日号	13P	市の施設を通常開館に
平成 24 年	5 月 1 日号	8P	節電対策 引き続きご協力を

【施設の節電対応】 市民活動推進部協働推進課

電力不足に対応するための節電対策として、以下のとおり市民センター等の施設の利用を制限した。

平成 23 年 3 月 14 日

所管施設において、夜間の利用制限を開始。

該当施設：市民センター、長房ふれあい館、市民活動支援センター。

平成 23 年 3 月 23 日

4 月の夜間利用制限の継続を決定。

平成 23 年 4 月 21 日

5・6 月の節電対策の継続を決定。

平成 23 年 5 月 20 日

6 月以降の夏季節電対策として、市民センターの輪番休館及び長房ふれあい館の臨時休館（毎週火曜日休館）を決定。

平成 23 年 8 月 30 日

10 月以降の節電対策の継続を決定。

平成 23 年 9 月 28 日

10 月以降、照明の LED 化や節電対策の更なる工夫により、施設の利用制限の解除を決定。

通常開館開始日

市民センター・・・・・・・・平成 23 年 10 月 8 日

長房ふれあい館・・・・・・・・平成 23 年 10 月 9 日

市民活動支援センター・・・・平成 23 年 10 月 1 日

参考： 東京電力計画停電期間（3/14～4/8）

【文化施設等節電対応】 市民活動推進部学園都市文化課

電力不足に対応するため、文化施設等の開館自粛などの対応をした。

平成23年3月14日～5月まで

施設名	節電対策
芸術文化会館	① 大ホール、小ホールの利用自粛。 ② 練習室、会議室等の夜間利用中止。
南大沢文化会館	① ホール、交流ホールの利用自粛。 ② 会議室等の夜間利用自粛。
学園都市センター	① イベントホールの利用自粛。 ② 会議室等の夜間利用中止。
夢美術館	① 夜間窓口等業務の中止。
オリンパスホール八王子	① ホールの利用がない場合の夜間窓口等業務の中止。

平成23年6月～9月まで

施設名	節電対策
芸術文化会館	①大ホール、小ホールの利用自粛（月5日程度の利用中止）。 ②練習室、会議室等の夜間利用中止。 ③ホール利用がない場合の夜間窓口等業務の中止。
南大沢文化会館	①主ホール、交流ホールの利用自粛（月7日程度の利用中止）。 ②会議室等の夜間利用自粛。 ③ホール利用がない場合の夜間窓口等業務の中止。
学園都市センター	①イベントホール、セミナー室等の夜間利用中止。 ただし、館の設置目的を勘案し学生等の施設利用については、その必要性等を十分考慮し、柔軟な対応を可とします。 ②イベントホールの照明は、利用者の協力を得る中で、極力間引く等の節電を実施する。 ③夜間窓口等業務の中止。
夢美術館	①開館日の17時閉館。 ②夏休み期間（7/20～8/31）の月曜休館の実施。 ③夜間窓口等業務の中止。
オリンパスホール八王子	①ホールの利用がない場合の夜間窓口等業務の中止。

【施設の節電対応・男女共同参画センター】 市民活動推進部男女共同参画課

生涯学習センターの節電対策としての輪番休館により、夏季期間（6月～9月）の毎週火曜日は同館が閉館となったが、男女共同参画センターへの相談に対応するため、以下のとおりとした。

対応：火曜日のみ電話転送で切り替え、相談電話番号で、本庁舎の電話につながるようにした。本庁舎の201会議室を使用し、相談員が常駐し、電話相談対応を行った。

時間：午前9時～午後5時

【計画停電対応】 総務部 IT 推進室

市ホームページ（パソコン版、携帯版）から計画停電に関する情報を発信した。また、市本庁舎に設置しているサーバー類の停止起動を行った。

計画停電に伴う住民情報システム機器停止日時

日	サーバー 停止時間	起動時間	
平成23年3月15日(火)	17:40	～	22:20
平成23年3月16日(水)	14:40	～	20:00
平成23年3月17日(木)	11:40	～	17:00
平成23年3月18日(金)	8:30	～	14:00
平成23年3月22日(火)	11:40	～	17:00
平成23年3月25日(金)	17:40	～	21:00

計画停電に伴う行政情報ネットワーク機器停止日時

日	サーバー停止時間		起動時間	
	財務会計	ネットワーク		
平成23年3月15日(火)	16:00	18:30	～	21:30
平成23年3月16日(水)	13:00	15:00	～	19:00
平成23年3月17日(木)	10:00	12:00	～	16:00
平成23年3月18日(金)	7:55	9:00	～	13:00
平成23年3月22日(火)	10:00	12:00	～	16:00
平成23年3月25日(金)	16:00	18:30	～	20:30

【計画停電対応 本庁舎管理】 財務部管財課

① 電話設備

3月13日(日)の計画停電の報道により、午後7時頃から守衛室に問い合わせの電話が入りはじめ、午後8時頃からは間断なく入電するようになった。翌14日(月)の午前0時30分過ぎには一定の収束をみたが、午前2時30分過ぎから再び増加し、午前5時過ぎに収束した。電話対応は、守衛職員と管財課職員が対応、午前0時から午前2時まで東京電力社員3名が応援に従事した。

<主な内容>

- ・防災無線が聞き取りにくい。
- ・防災無線と報道の内容が異なる。
- ・計画停電の実施についての不満 等

14日(月)以降も代表電話(電話交換室を経由する電話)への入電が多かったため、交換手を1名増員し対応した。なお、停電相談センターが同日開設されたことにより、一定の減少が図られた。

② 電気設備

計画停電実施時は非常用自家発電装置を稼働させ、非常用照明及び共用部分等の一部照明の点灯とポータブル発電機により報道関係者用のパソコン電源と照明の設置を行った。

詳細は以下のとおり

ア 自動扉

計画停電実施時は、1階正面玄関、南側玄関、東側玄関及びB階通用口の自動扉は手動式に切り替え、出入り口には職員を配置した。

イ エレベーター

事務棟西側及び東側の非常用エレベーター2台のみ運転した。

ウ 照明

執務室は非常用照明の点灯、階段及び通路部分は一部点灯、トイレは使用箇所を限定して点灯した。またポータブル発電機を使用し、報道関係者用照明を設置した。

エ 電源

コンセントからの供給は停止。ポータブル発電機により報道関係者用のパソコン電源を確保した。

【公用車の運用について】 財務部管財課

防災無線が届かない地域への広報活動のために車両職員が公用車を運行した。また、夜間診療所用の物資を保健センターに搬送した。

【生活安全対策事業（3/14～28）】 生活安全部暮らしの安全安心課

停電に伴う混乱に備えて、カーパトロール、つきまといパトロールそれぞれ以下のとおり対応した。

・カーパトロール

混乱や事故防止、停電に乗じた犯罪行為の抑止として、停電が予定される時刻・地域へ青パト車両を配置した。また、実際の停電時（日中）には、落ち着いて行動し、不要不急の外出は控えるよう注意喚起の広報活動を実施した。その際、停電地域では携帯電話も使用できなくなるため、防災課から携帯型デジタル防災無線機端末8台を借用し、停電時の連絡に使用した。その後、4台は青パト車両常備として継続して借用している。

なお、義援金を名目とした詐欺や震災に便乗した振り込め詐欺も確認されていたため、注意喚起の広報も市内全域で実施した（～6月上旬）。

《広報案文》

計画停電

八王子市からお知らせします。
ただ今、東京電力による計画停電が実施されています。
停電中、信号機、街灯も点灯していません。自動車での移動は、自粛するとともに、できる限り、外出を控えてください。
停電中、家電の電源は切りましょう。通電再開時に、ブレーカーが落ちたり、故障の原因になりえます。できれば、コンセントから抜いてください。
通電後は、引き続き、節電へのご協力をお願いします。
戸締まりをしっかりとし、安全対策もお願いします。

節電呼びかけ

八王子市及び東京電力から節電の徹底をお願いいたします。
現在、東北地方で発生した地震の影響により、電力が不足しております。
このままの状態が続くと、強制的な臨時停電を行うこととなります。
市民の皆様には、徹底した節電にご協力をお願いします。

義援金詐欺・震災便乗詐欺

八王子市と警察署からお知らせします。
大震災の発生に伴い、義援金に見せかけた詐欺が行われる恐れがあります。
義援金は、行政やテレビなどで発表されている窓口や振込先にするように注意してください。また、地震で携帯電話を壊したなど、大震災に便乗した振り込め詐欺も発生しています。気を付けてください。

・つきまといパトロール

計画停電実施時は一部通常業務を中止し、ユーロード入口交差点などで交通整理をする警察官の補助など、歩行者の安全確保に従事した。

なお、停電に伴う電話不通時の連絡には、消費生活センター又は八王子駅南口総合事務所に備え付けのデジタル防災無線機を使用して本庁に連絡するものとした。

【計画停電】 生活安全部暮らしの安全安心課（消費生活センター）

生涯学習センター（クリエイトホール）が節電対策で、夏季期間（6月～9月）毎週火曜日を閉館とし、職員の立入も一切厳禁となった。このことにより、この期間の毎週火曜日は、相談対応ができなくなってしまうため、以下の対応を行った。

期 間：6月～9月

時 間：午前9時～午後4時30分（通常と同様）

対 応：火曜日のみ電話転送で切り替え、相談電話番号で、本庁舎の電話につながるようにした。本庁舎の会議室、防災課裏のスペースを使用し、相談員が交代で2～3名常駐し、電話相談対応をおこなった。

【計画停電対応】 市民部市民課

「停電に伴う業務中止の予告」のポスター等を作成し、市民に周知を行うとともに、外国人のためのポスターも合わせて作成した。

また、東京電力が夕方発表する計画停電スケジュールに基づき、システム稼働可能時間を確認（通電後システム起動には約1時間を要す）し、受付業務の窓口職員用タイムテーブルを作成した。

一方、窓口業務において受付可能な時間帯の日程表を作成し、市民に周知した。時間帯によって、受付処理可能、預かり郵送、再度来庁をお願いするなどできる限り市民に負担をかけない対応を心掛けた。

効率的な処理対策として、預かり分の「異動届の入力」や「住民票、戸籍謄・抄本の出力」を電力供給時に集中してできるよう職員の勤務体制を2班に分けて行った。

（例）A班 8：30～17：30

B班 12：30～21：30

停電に伴う業務中止の予告

東北地方太平洋沖地震に伴い東京電力の計画停電が予定されています。これに伴い停電中は窓口業務を中止させていただきますので、ご了承ください。

八王子市^①

Aviso sobre la suspensión del servicio público con ahorro eléctrico

Con el gran terremoto en oceano pacifico—distrito de Tohoku, la compañía eléctrica de Tokio (Tokyo Denryoku) está realizando la planificación del corte del suministro eléctrico. Por esta razón estamos en la situación de la falta de la energía.

Para corresponder de la falta de la energía y apoyar el restablecimiento en la área damnificada lo más pronto posible, suspensaremos el uso de este establecimiento después 5 de la tarde por momento.

Aunque causo una molestia, por favor tengan sus entendimientos y cooperaciones.

16 de marzo de 2011

Ciudad Hachioji

「停電に伴う業務中止の予告」のポスター

【節電の取り組み】 健康福祉部保健総務課

保健所施設の節電対策として、以下のことを実施した。

- ・エレベーターを停止（エレベーターを必要とする市民対応時のみ稼働）
- ・正面玄関に2枚ある自動ドアのうち、内側ドアを常時開放
- ・空調は執務室のみとし、ロビー等の共用部分は停止
- ・朝夕の空調を停止し、稼働時間を短縮
- ・執務室及び廊下の蛍光灯を間引き点灯

【休館対応】 健康福祉部大横保健福祉センター

平成23年3月18日から3月29日までの間の7日間、東京電力の計画停電の実施に伴い、計画停電の予定日に合わせて大横保健福祉センターを休館日とした。

また、平成23年6月23日から9月30日までの間、夏の電力供給不足に対応するため、毎週木曜日を休館日とした。

計画停電に伴う休館

休館日 3月18日（金）、3月19日（土）、3月22日（火）午後のみ、
3月23日（水）、3月24日（木）、3月28日（月）、
3月29日（火）の計7日間

休館に伴う影響

個人利用休館	3日間
風呂利用中止	3日間
趣味の教室休講	2教室
サークル活動中止	26団体
介護予防教室休講	1教室
介護予防サークル中止	2団体

夏の電力供給不足に伴う休館

休館日 平成23年6月23日から9月30日までの毎週木曜日
計15日間

休館に伴う影響

個人利用休館	15日間
風呂利用休館	15日間
介護予防教室休講	6日間

電力使用量

前年（平成22年）との電力使用量の比較は次のとおりです。

電気使用量（単位：kwh）

	平成22年	平成23年	差引	増減率
3月	9,452	10,008	556	5.9%
6月	4,890	3,896	△994	△20.3%
7月	7,218	4,165	△3,053	△42.3%
8月	10,726	5,578	△5,148	△48.0%
9月	12,057	6,265	△5,792	△48.0%

【医療依存度の高い在宅難病療養者の支援】 健康福祉部保健対策課

東日本大震災、原発事故の影響により八王子市でも計画停電が実施された。医療依存度の高い人工呼吸器装着などの在宅療養者に停電が及ぼす影響を懸念し、計画停電発表後、停電への準備状況の確認や必要な支援を行った。

1) 停電に対する準備状況の確認

平常時から一覧表化している難病支援者リストを基に、要強力支援者 40 名に対し停電実施予定時刻の前に電話で準備状況を確認した。人工呼吸器に関しては概ね予備電源で3時間以上稼働が可能な一方で、吸引器の充電機能がない、充電稼働時間が十分でない可能性があることが分かった。そこで危険度を3段階で評価し対応策の検討を行った。また翌日から要強力支援者以外の吸引器貸与者 13 名へ対象を拡大した。(図1)

2) 病院連絡・入院調整

介護力やケア体制などから入院が必要な人が出る場合を想定し、市内の神経難病医療協力病院等へ入院の可否を打診した。結果として、訪問看護ステーションの調整により、「危険」と評価した1名が入院となった。

3) 訪問とシリンジ(注射器)の配布

準備状況を確認した当日に「危険」、2日目以降に「心配」と評価した人に家庭訪問による状況確認を実施した。その際に非常時の対策としてシリンジを配布し、先端に吸引チューブを接続して吸引する方法を指導した。

4) 情報収集と発信

電力会社に電話が通じない状況が続いていたが、10日目に市に設置された停電総合相談センターを通じ自家発電機貸与の情報を得た。その情報を訪問看護ステーションへ提供し4件の相談が入った。また、代替電源や対策の情報を集約したり、ペットボトルを使った簡易手作り吸引器を試作し療養者や関係者へ紹介した。

5) 停電実施状況の確認

市内では計画停電3日目の夕方から停電が実施され、その翌日から電話で実際の停電の有無と対応状況、困ったことを確認した。(表1)

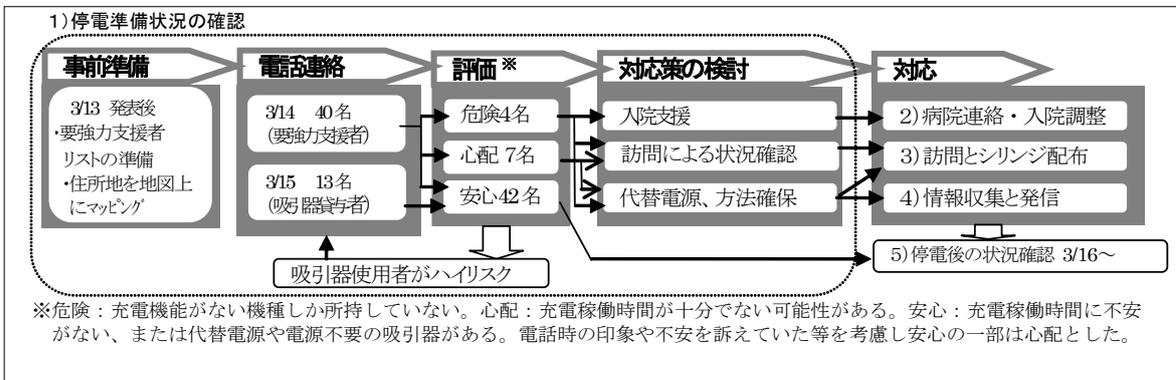


図1. 計画停電発表後の状況確認と対応

表1.療養者・家族と関係機関の意見

療養者・家族	発電機が欲しい、電力会社は電話が繋がらない 発電機はあるが、ガソリン(ガスボンベ)が手に入らない
	人工呼吸器が止まったらどう対処するのか？ 何年も前に購入したバッテリーだけ大丈夫か？ 外部電源への切替えを訪問者ができず別居家族が駆けつけた 停電してから電源を切替えようとしたら真っ暗で見えず焦った
	吸引器が故障し買い換えようと思っていたので困っている バッテリーがどのくらいもつか分からないので不安 バッテリー機能はない、足踏み式を使ったことないがもっている
	酸素ボンベの容量が足りるか心配
	経管栄養中にギャジアップしたまま停電となり大変だった
	停電のグループが発表されていたものと違った
	わざわざ来てくれて嬉しい、ありがたい あちこちから電話が来て休めない、停電が終わって休んでいた
	訪問先で問題を発見すると入院先を探したり、対策を現場で考えなくてはならず負担を感じた
	とにかくいるスタッフで訪問に回った ガソリン不足で徒歩や自転車で安否確認をした
	停電で吸引器が使えないことを心配し、ステーションから緊急用にシリンジを配布した
関係機関	夏の計画停電に向け、うっ熱対策が心配
	計画停電確認表は具体的に役立つ、積極的に周知して欲しい

このような対応を経て、夏の計画停電に備え、停電に備えての指導や停電を想定した訓練計画を立て、療養支援関係機関との連絡手段を確保し、日常連携の強化を図るなどの対策に取り組んだ。

その後も災害に備えた医療依存度の高い在宅療養者の個別の支援計画策定事業につなげるべく難病療養支援事業の充実を図った。

また、福島県内から親族を頼って八王子市内へ避難してきた難病療養者に訪問等により相談対応を行った。

【保育所等への登園自粛】 こども家庭部子育て支援課

国の計画停電実施中の保育については、停電により給食調理や日没後の保育が難しくなること、また、公共交通機関の混乱により、園児の送迎に影響があることが想定されたため、可能な保護者については、登園を自粛していただくよう、民間保育園・認証保育所・家庭福祉員を通じて保護者へ協力の通知を送付した。

その後、計画停電が事前に確認しやすくなった段階で、登園自粛を解除した。

【電力需給対策に対応した休日保育実施】 こども家庭部子育て支援課

平成23年度夏の電力需給対策については、民間企業における就業日の変更等の取り組みが見込まれたため、休日の保育ニーズを把握するためのアンケート調査を実施した。現在実施している休日保育では、不足が見込まれたため、電力需給対策休日保育を実施した。

1 実施施設

- ①市立富士見台保育園
- ②市立みなみ野保育園
- ③市立千人保育園
- ④京王キッズプラッツ南大沢

2 実施期間

7月から9月までの日曜日及び祝日（計16日）。

(1) 実施時間

午前7時30分から午後6時30分まで

(2) 対象児童

保育サービスを受けている児童の保護者が、勤務先の電力需給対策のために就業日が変更となることにより、日曜日及び祝日に保育を必要とする市内在住の児童。

対象年齢は、1歳児から就学前。

みなみ野保育園は0歳児から対象。

(3) 利用実績 延146名

【電力需給対策に伴う市立児童館の日曜日開館】 こども家庭部児童青少年課

東日本大震災に起因する夏季電力需給対策により、保護者の勤務日が変更となり適切な監護が受けられない市立学童保育所在籍児童に対し、平成23年7月から9月までの間、日曜日・祝祭日に市立児童館を開館し対応した。

・実施施設：3館（当初）⇒1館（ニーズが少なかったため後日変更）

また、震災後計画停電実施に伴い児童館開館時間を1時間短縮し、18時までに変更した。期間は平成23年3月14日～5月31日まで。

【水道】 水循環部水道課

1. 計画停電による影響概要

市内給水区域のうち、次の増圧ポンプ所（BP）の配水系統に断水や濁水の発生が予想された。断水の影響を受けた区域は第2グループの裏高尾町・南浅川町と第3グループの上川町、美山町、戸吹町であり、断水件数は1960件に上った。

2. 水道の断水・濁水発生への対応状況

(1) 応急給水のための出動態勢（八王子市・都水道局八王子給水事務所）
平成23年3月14日から4月11日の間、都和連携した出動態勢を執った。

ア. 市

- ・給水車1台
- ・トラック（1t給水タンク積載）6台
水道課（1台）、館清掃事業所（2台）、戸吹清掃事業所（1台）、南大沢清掃事業所（2台）

イ. 都

- ・給水車1台
- ・トラック（1t給水タンク積載）1台
- ・広報車2台

(2) 停電に伴う断水・濁水等の対応

ア. 市民等への情報提供

- ・広報車による広報活動（小津町、散田2丁目、裏高尾町、南浅川町、上川町、美山町、戸吹町）
- ・防災無線にて、断水・濁水の注意喚起を午前2回、午後2回実施
- ・二次医療機関以上の病院（12カ所）へ水の確保依頼
- ・大口利用者の80カ所へ断水・濁水の可能性について都へ周知依頼

イ. 市民への節水や水の汲置き等の啓発

- ・ホームページ・広報等

【下水道管路施設維持】 水循環部下水道課

マンホールポンプは、八王子の地形の特色から、特に川の下越しなど汚水を圧送する目的で113箇所設置されている。停電により圧送ができない場合、マンホールが汚水で溢れ生活環境が悪化する。今回の計画停電により第2グループで90箇所（7箇所は停電なし）、第3グループで16箇所停止が予想された。

維持管理を委託している（財）東京都新都市建設公社と停電時の対応を調整し、日平均運転時間2時間以上や雨天時に流入量増加するマンホールポンプ23箇所

第1章 第3節 計画停電対応・停電総合相談センター・節電対応

(資料1参照) について、バキュームカーでの汲み取り及び水中ポンプでの対応を行った。バキュームカーについては、水再生課・(財)東京都新都市建設公社が出動した。

マンホールポンプ抽出一覧表(資料1)

No.	名称	1日平均運転時間(時間)		グループ
1	2号ポンプ	3.3	雨天時増量	2G
2	17号ポンプ	2.5		2G
3	18号ポンプ	3.2	雨天時増量	2G
4	23号ポンプ	6.5	雨天時増量	2G
5	29号ポンプ	3.8	雨天時増量	2G
6	33号ポンプ	6.5		2G
7	39号ポンプ	5.2	雨天時増量	2G
8	45号ポンプ	6.0	雨天時増量	2G
9	48号ポンプ	4.6		2G
10	49号ポンプ	8.3		3G
11	54号ポンプ	2.8		2G
12	62号ポンプ	2.0		2G
13	65号ポンプ	3.4		2G
14	67号ポンプ	6.7		3G
15	68号ポンプ	2.8	雨天時増量	3G
16	82号ポンプ	2.1		3G
17	85号ポンプ	6.0		3G
18	86号ポンプ	8.1		3G
19	96号ポンプ	2.8		2G
20	104号ポンプ	5.0		2G
21	区仮1ポンプ	2.6		2G
22	58号ポンプ	0.2	雨天時増量	2G
23	98号ポンプ	0.6	雨天時増量	2G

3月15、16日の作業状況及び汚水流入量の結果(資料2参照)をもとに今後の作業方法の再検討を行い、マンホールポンプを発電機による外部電源で運転する対応を追加した。また、点検対象であるマンホールポンプの見直しも行い、計画停電内に汲み取りが必要な第2グループ5箇所第3グループ5箇所計8箇所へ縮小して対応した。

第1章 第3節 計画停電対応・停電総合相談センター・節電対応

マンホールポンプ対応表（資料2）

月日	可否	グループ	停電時間	汲取量(ℓ)	使用機材	備考
3/15	実施	第2-D	18:50～20:50	15,400	水中ポンプ：3か所 バキューム：5箇所	
3/16	実施	第2-D	15:50～18:50	6,540	水中ポンプ：3か所 バキューム：4箇所	水再生課・バキューム車3台出動
	実施	第3-B	18:20～20:40	10,900	バキューム：3箇所	水再生課・バキューム車3台出動
3/17	実施	第2-D	12:50～15:35	1,000	水中ポンプ：3か所 バキューム：4箇所 発電機：1箇所	
	実施	第3-B	15:30～18:25	10,700	バキューム：2箇所 発電機：1箇所	水再生課・バキューム車2台出動
3/18	実施	第2-D	9:50～12:50	0	水中ポンプ：3か所 バキューム：10箇所 発電機：1箇所	
	実施	第3-B	12:30～15:25	4,900	バキューム：4箇所 発電機：1箇所	
3/22	実施	第2-D	12:50～15:50	1,000	バキューム：1箇所 発電機：4箇所	
	実施	第3-B	15:50～18:40	0	バキューム：1箇所 発電機：2箇所	
3/25	実施	第2-D	18:50～19:50	0	バキューム：1箇所 発電機：4箇所	

作業の様子



停電時におけるマンホールポンプからの汚水くみ上げ



発電機（外部電源）を使いマンホールポンプを稼働

【北野下水道処理場・し尿処理施設・南大沢リサイクルセンターの運転】 水循環部水再生課

北野下水処理場では停電時も下水は通常通り流入するため、計画停電を実施した場合、自家発電機により運転する必要がある。

自家発電機への切り替えは、全設備を一旦停止してから再度立ち上げる作業となるが、焼却設備、遠心脱水設備は稼働中に停止すると、再稼働時に支障を来すため、計画停電時間までに停止させておく措置を講じた。

災害の影響で重油の流通が不安定となり、契約業者での納入が出来なくなった。そのため納入できる業者を探し重油を確保することで、焼却炉、自家発電機を停止することなく稼働させた。北野下水処理場では、3月18・22・25日の3日間自家発電機を稼働し、1478.410の重油を使用した。

北野衛生処理センターでは、停電時は全ての設備を停止し、し尿の受入れのみ実施した。復電後設備を再稼働し、通常運転を行った。

また、南大沢水リサイクルセンターは、停電が起きると水質が悪化するため3/16～4/25の間、中水の配水を中止した。

【公園等の節電】 まちなみ整備部公園課

震災直後の平成23年3月14日より翌平成24年3月末まで、市内の公園等において公園灯の消灯を行った。

従来公園灯は、基本的に午後10時までは点灯しておりましたが、震災にともなう原子力発電事故の影響で電気の使用について大幅な削減の必要性が見込まれたため、いったんほぼすべての公園等の公園灯を消灯した。

その後、安全性や防犯の観点などから、地元町会等と協議を重ね、再点灯を最低限に抑えながら、1年を通して節電に努めた。

【道路や駅施設における節電対応】 道路事業部

電力が安定供給されるまでの節電対応として、以下の対応を行った。

- ・道路照明灯について、順次2,200基を消灯するとともに、消費電力の少ないタイプのランプへの交換を優先事業として行った。
- ・駅施設（エスカレーター、エレベーター）について、一時運転を停止した。

【会計事務】 会計課

計画停電の実施に伴い、公金の収納及び支払を円滑に行うため、以下の事項について全所管に対して協力を依頼した。

1 停電中の指定金融機関派出所の利用自粛

停電中は、派出所内の機器が使用できず事務処理に時間を要することから、市民の納付の受付を優先するため、各課における利用（前渡金の引出、収納金の払込等）を控えること。

2 支出命令書の早期持込

停電による財務会計システムの運用停止に伴い、会計課における振込データの作成に通常時よりも1日多く時間を要することから、持込期限（支払予定日の7日前）の厳守及びより一層の早期の持込を行うこと。

【施設の節電対応】 議会事務局

市庁舎全体の節電対策とあわせて、議場内の照明の一部を消灯したり、議会事務局の執務室内や議員控室、廊下などにおける照明の間引きや暖房の停止などの節電対策を実施した。

【児童・生徒の安全確保】 学校教育部教育総務課

支援対策本部で決定した、市内全施設における節電の徹底を受け、学校においても不要電気の消灯等による節電を行うように各小中学校へ周知するとともに、小中PTA連合会へも理解いただくよう通知した。併せて、計画停電に伴い、信号機の停止等も想定されたことから、児童・生徒の登下校の安全対策について学校、地域で連携して対応するよう要請した。

【簡易給食の実施】学校教育部学事課

計画停電の実施に伴い、23年度の当初から簡易給食を実施した。簡易給食は、パンを主食とし、牛乳、果物を基本とする内容で提供し、計画停電が中止になった場合には、小学校は学校に取り置いた乾物や、缶詰等を使い汁物等を、中学校においてはパスタ類を追加することとした。パンは学校給食会指定の2業者に協力を依頼し、注文の集中による混乱を避けるため種類、大きさをあらかじめ指定した。また、パンに含まれるアレルギー食材除去ができないため、アレルギー食材除去対応児童は家庭からの弁当持参で対応することとした。なお、簡易給食については、4月8日の計画停電の原則打ち切りを受けて食材の調達が可能となる日をもって終了とした。

【計画停電対応】生涯学習スポーツ部学習支援課

原子力発電所の被災により東京電力が実施した計画停電では、生涯学習センタービル（クリエイトホール）も計画停電の対象となった。

多目的ホールや学習室、図書館や子ども家庭支援センターなどのある複合施設であり、老若男女問わず多くの来館者がある駅前施設として安全を第一に考え、計画停電が予定された時間およびその前後30分程度の余裕を持って、一般の方の入館制限を行い、エレベーターの事前停止、館内巡回など、計画停電の実施に備えた。

連日予定された計画停電の中で、実際に実施されたのは3回（昼間1回・夜間2回）であった。

計画停電が始まると自家発電設備が稼動し、運営上最低限必要となる電力が供給され非常態勢となる。

計画停電終了後は中央管制室にて、エレベーターや制御機器などの復旧作業を行い、計画停電による影響（不具合等）がなく、安全に開館ができることを確認したうえで、通常の運営状態へ復した。

【計画停電対応】 生涯学習スポーツ部

計画停電が実施される中、電気使用料を抑制する措置として、各施設を休館とし、その後夜間業務の中止や輪番制の休館を実施した。

また、計画停電時に各施設では、入場制限や巡回などの対応を実施し、来館者の安全確保に努めた。

休館等をした施設

施設名
市民体育館
甲の原体育館
生涯学習センター
郷土資料館
絹の道資料館
図書館
サイエンスドーム八王子

上記施設の対応

期 間	内 容
平成23年3月31日まで	終日休館
平成23年5月31日まで	夜間のみ休館
平成23年9月30日まで	輪番制休館及び夜間休館

※甲の原体育館のプールは、5月31日まで終日中止

夜間のみ業務を中止した施設

施設名
野球場
テニスコート

※上記施設は5月31日まで中止

【計画停電対応】 生涯学習スポーツ部生涯学習総務課

開放教室及び稲荷山行政資料保管等施設（旧稲荷山小学校）体育館は計画停電が実施される中、電気使用量を抑制する措置として終日利用中止とし、その後夜間利用の中止などを実施した。

開放教室・・・生涯学習活動、地域コミュニティ活動等を行なう団体の活動スペースとして学校の開放教室を開放している。

対象校：式分方小学校、由井第一小学校、浅川小学校

期 間	内 容
平成23年3月31日まで	終日利用中止
平成23年5月31日まで	夜間のみ利用中止
平成23年9月30日まで	輪番制で利用中止